



マーケット・ウィークリー (No.375) 【2015年8月10日～8月14日】

情報提供資料

SMAM

＜マーケットレポート No.4,358＞

2015年8月17日

1. 先週の市場動向

	先々週末	先週末	
	2015/8/7	2015/8/14	前週比
＜株式＞			
NYダウ(米国)	17,373.38	17,477.40	0.60%
日経平均株価(日本)	20,724.56	20,519.45	▲0.99%
DAX指数(ドイツ)	11,490.83	10,985.14	▲4.40%
FTSE指数(英国)	6,718.49	6,550.74	▲2.50%
上海総合指数(中国)	3,744.21	3,965.34	5.91%
香港ハンセン指数(中国)	24,552.47	23,991.03	▲2.29%
ASX指数(豪州)	5,474.78	5,356.54	▲2.16%
＜リート＞			
S&Pグローバルリート指数	174.36	175.25	0.51%
＜債券＞(利回り)(%)			
米国10年国債	2.162	2.198	0.035
日本10年国債	0.420	0.384	▲0.036
ドイツ10年国債	0.661	0.660	▲0.001
英国10年国債	1.848	1.877	0.029
＜為替＞			
ドル円	124.24	124.31	0.06%
ユーロ円	136.24	138.10	1.37%
ユーロドル	1.0967	1.1109	1.29%
豪ドル円	92.16	91.70	▲0.50%
＜商品＞			
商品(CRB指数)	198.32	197.97	▲0.18%
原油先物価格(WTI)	43.87	42.50	▲3.12%

【先週の市場の振り返り】

＜株式＞

米国株は、上昇しました。11日から3日連続して人民元が対米ドルで合計5%弱切り下げられたことを受け、株価は下落する場面も見られました。しかし、堅調な鉱工業生産指数などから、株価は反発しました。ドイツ株は下落しました。人民元が切り下げられ、中国経済の減速懸念が強まったことから、欧州の輸出企業の業績悪化が懸念され、株価は下落しました。日本株は、下落しました。人民元が切り下げられたことなどの影響を受けました。

＜債券＞

米国債は、利回りが小幅に上昇しました。年内の利上げが意識されたことや堅調な鉱工業生産などの経済指標が要因です。ドイツ国債は、利回りがほぼ横ばいとなりました。人民元が切り下げられ、国債利回りは低下する場面も見られました。しかし、中国当局による切り下げ終了の示唆やギリシャへの第3次金融支援合意を材料に、週末にかけて同利回りは上昇し、前週末比との比較ではほぼ横ばいとなりました。

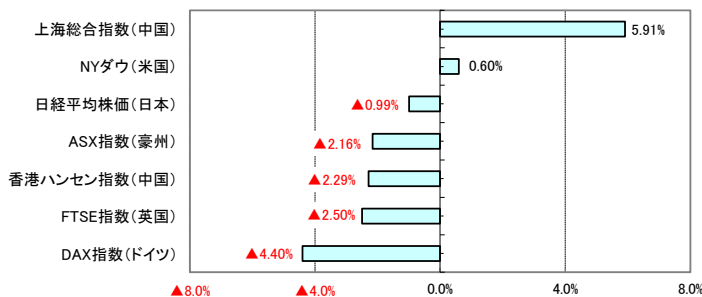
＜為替＞

ドル円は、ドルが小幅に上昇しました。米国の年内利上げが意識されされたことなどが影響しました。ユーロ円は、ユーロが上昇しました。ギリシャへの第3次金融支援合意などを材料に、ユーロは円やドルに対して上昇しました。

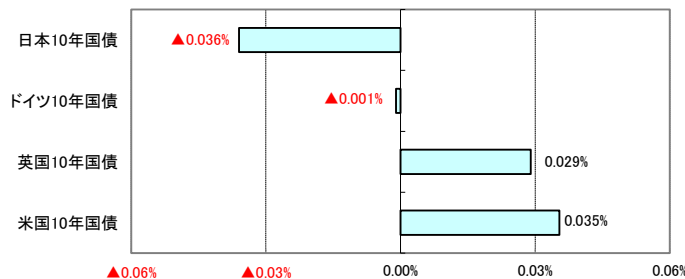
＜商品＞

原油価格は、下落しました。中国の景気減速懸念や石油輸出国機構(OPEC)の生産増加から、需給悪化懸念が強まりました。

株式(前週比)

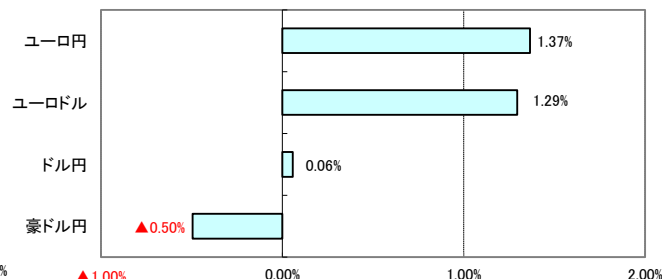


10年国債利回り(前週差)



※利回りの低下は債券価格の上昇を表します。

為替(前週比)



※ユーロドルのプラス表示はユーロ高・ドル安。

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

当資料の最終ページに重要な注意事項を記載しておりますので、必ずご確認ください。



三井住友アセットマネジメント株式会社



SMAM

マーケット・ウィークリー(No.375) 【2015年8月10日～8月14日】

<マーケットレポート No.4,358>

情報提供資料

2015年8月17日

2. 先週のマーケット・デیلیー/ウィークリー

	テーマ	ポイント
8/10 (月)	先週のマーケットの振り返り	2015/8/3～8/7のマーケットの振り返り
8/10 (月)	米国の雇用統計(7月)	7月の非農業部門雇用者数は前月比21.5万人の増加となり、改善基調を維持しました。 7月の時間当たり賃金は前月比+0.2%と前月の横ばいから加速しました。 - 今回の内容で9月利上げの可能性が高まりました。ただし、利上げのペースは緩やかと見られます。
8/11 (火)	原油価格とMLP市場の見通し	- MLP市場(アレリアンMLPトータルリターン指数)は、原油安と個別銘柄の業績で下落しました。 - エネルギー・インフラ需要の拡大を背景として、パイプライン大手は中長期的には収益拡大すると見込まれます。 - シェールオイル増産傾向は不変と見られ、生産量の拡大でMLPの収益拡大が期待されます。
☆	8/11 (火)	中国、人民元を切り下げ、輸出振興により製造業強化へ
☆	8/12 (水)	米国の債券市場(8月)
8/13 (木)	主要国のリート市場の最近の動向(7月)	7月のグローバル・リート市場は、ギリシャ情勢や国債利回りの低下を好感し、円ベースで+3.9%と上昇しました。 - 現地通貨ベースでは、米国市場はインフレ期待の後退と国債利回り低下を受け、上昇しました - グローバル・リート市場は、相対的に高い配当利回りに支えられ、底固い展開が期待されます。
8/14 (金)	アジア・リート市場、足元の動向と今後の見通し	- アジア・リート市場は、中国の景気減速懸念から、足元軟調です。 - シンガポール市場は、景気の相対的な弱さも影響し、他の市場に比べ、大きく下落しました。 - アジア・リート市場は、中国景気への懸念が和らぐにつれ、底堅い展開が期待されます。
8/14 (金)	日本の主要企業の決算見通し	- TOPIX(東証株価指数)ベースの4-6月期の1株当たり純利益は、前年同期比+40.3%と大幅増の見込みです。 - 円安による輸出採算の改善、原油価格の下落、国内消費の回復などが利益増に貢献しました。 7-9月期以降も、株価は企業収益の拡大に沿った展開が期待されます。

☆ は右の「グラフ・図表」参照

☆先週の市場動向に関連する代表的な「グラフ・図表」

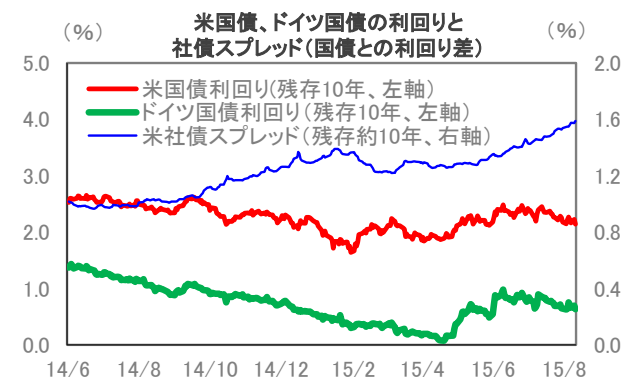
☆8/11【中国、人民元を切り下げ、輸出振興により製造業強化へ】



(注) データは2009年1月1日～2015年8月11日。

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

☆8/12【米国の債券市場(2015年8月)】
ギリシャ、中国情勢の混迷から米国債利回りは低下



(注1) データは2014年6月1日～2015年8月11日。

(注2) 米社債スプレッドはパークレイズ・米国投資適格社債インデックス。

(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

当資料の最終ページに重要な注意事項を記載しておりますので、必ずご確認ください。



三井住友アセットマネジメント株式会社



マーケット・ウィークリー(No.375) 【2015年8月10日～8月14日】

SMAM

<マーケットレポート No.4,358>

情報提供資料

2015年8月17日

3. 今週の主な注目材料

日付	米国	日本	欧州	アジア・オセアニア・その他
8/17 (月)	8月NAHB住宅市場指数	4-6月期GDP(速報)	ユーロ圏6月貿易統計 ☆	タイ4-6月期GDP
8/18 (火)	7月住宅着工・建設許可件数	7月新規マンション発売件数		インドネシア金融政策決定会合 トルコ金融政策決定会合 中国7月不動産価格指数
8/19 (水)	連邦公開市場委員会(FOMC)議事要旨(7月28-29日開催分) ☆ 7月消費者物価指数 ☆	7月貿易統計 7月景気動向指数(確報) 7月訪日外国人観光客数 ☆	ユーロ圏6月経常収支	
8/20 (木)	7月中古住宅販売件数 7月景気先行指数(コンファレンスボード)	7月コンビニエンスストア売上高	ギリシャECB向け国債償還(約32億ユーロ) 英国7月小売売上高	メキシコ4-6月期GDP
8/21 (金)		7月全国スーパー売上高	ユーロ圏8月消費者信頼感指数	中国8月Caixin製造業PMI ☆
☆ 今週の注目点	FOMC議事録や7月の消費者物価指数は、9月の利上げを占う材料として注目されています。	中国株の下落が、中国人の訪日ブームに影響を与えたか、注目されます。	ユーロ圏の輸出の回復傾向が続いているか、注目されます。	中国の景気減速懸念が強まるなか、8月の製造業景況感が、注目されます。

※各経済指標・イベントは予定であり、変更されることがあります。

先週の注目の「マーケット・デイリー」

2015年08月11日 中国、人民元を切り下げ、輸出振興により製造業強化へ【デイリー】

2015年08月12日 米国の債券市場(2015年8月) ギリシャ、中国情勢の混迷から米国債利回りは低下【デイリー】

先週の「マーケット・ウィークリー」

2015年08月10日 先週のマーケットの振り返り(2015/8/3-8/7)【ウィークリー】

先月の「マーケット・マンスリー」

2015年08月03日 先月のマーケットの振り返り(2015年7月)【マンスリー】

先週の注目の「マーケット・キーワード」

2015年08月14日 株価下落でも堅調な「消費の新潮流」(中国)【キーワード】

弊社マーケットレポート

検索!!

当資料の最終ページに重要な注意事項を記載しておりますので、必ずご確認ください。



三井住友アセットマネジメント株式会社



SMAM

マーケット・ウィークリー(No.375) 【2015年8月10日～8月14日】

＜マーケットレポート No.4,358＞

情報提供資料

2015年8月17日

【重要な注意事項】

【投資信託商品についてのご注意（リスク、費用）】

●投資信託に係るリスクについて

投資信託の基準価額は、投資信託に組み入れられる有価証券の値動き等（外貨建資産には為替変動もあります。）の影響により上下します。基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

運用の結果として投資信託に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。したがって、投資信託は預貯金とは異なり、投資元本が保証されているものではなく、一定の投資成果を保証するものでもありません。

●投資信託に係る費用について

ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。

- ◆直接ご負担いただく費用・・・申込手数料 上限3.78%（税込）
 - ・・・換金（解約）手数料 上限1.08%（税込）
 - ・・・信託財産留保額 上限3.50%

- ◆投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用・・・信託報酬 上限年 2.052%（税込）

- ◆その他費用・・・監査費用、有価証券の売買時の手数料、デリバティブ取引等に要する費用（それらにかかる消費税等相当額を含みます。）、および外国における資産の保管等に要する費用等が信託財産から支払われます。また、投資信託によっては成功報酬が定められており当該成功報酬が信託財産から支払われます。投資信託証券を組み入れる場合には、お客さまが間接的に支払う費用として、当該投資信託の資産から支払われる運用報酬、投資資産の取引費用等が発生します。これらの費用等に関しましては、その時々取引内容等により金額が決定し、運用の状況により変化するため、予めその上限額、計算方法等を具体的には記載できません。

※なお、お客さまにご負担いただく上記費用等の合計額、その上限額および計算方法等は、お客さまの保有期間に応じて異なる等の理由により予め具体的に記載することはできません。

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、三井住友アセットマネジメントが運用するすべての投資信託（基準日現在において有価証券届出書を提出済みの未設定の投資信託を含みます。）における、それぞれの費用の最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前に投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面等を必ずご覧ください。

●投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。

●投資信託は、クローズド期間、国内外の休業日の取扱い等により、換金等ができないことがありますのでご注意ください。

[2014年4月1日現在]

三井住友アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第399号

加入協会：一般社団法人 投資信託協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会、一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。



三井住友アセットマネジメント株式会社